

土浦医療圏における救急医療提供体制について

土浦医療圏の救急医療提供体制に関する協議について

土浦医療圏では、救急搬送が土浦協同病院へ集中していることから、土浦協同病院への搬送集中を回避するため、第一次及び第二次救急医療機関による、患者の症状に応じた受け入れの役割分担が課題となっている。

また、2024年4月の医師の働き方改革の導入や医療機関の人員不足などにより診療体制が縮小され、救急医療提供体制へ影響を及ぼすことが懸念されている。

そこで、調整会議では、医療圏内の救急医療に関するデータを参考とし、各病院や消防における現状・課題について意見交換を行い、今後の方策を検討してきたところである。

今回の調整会議では、引続き土浦医療圏における救急医療の現状について把握するとともに、議事(5)の「令和8年度医師派遣調整に係る医師派遣要望について」を検討するための参考とする。

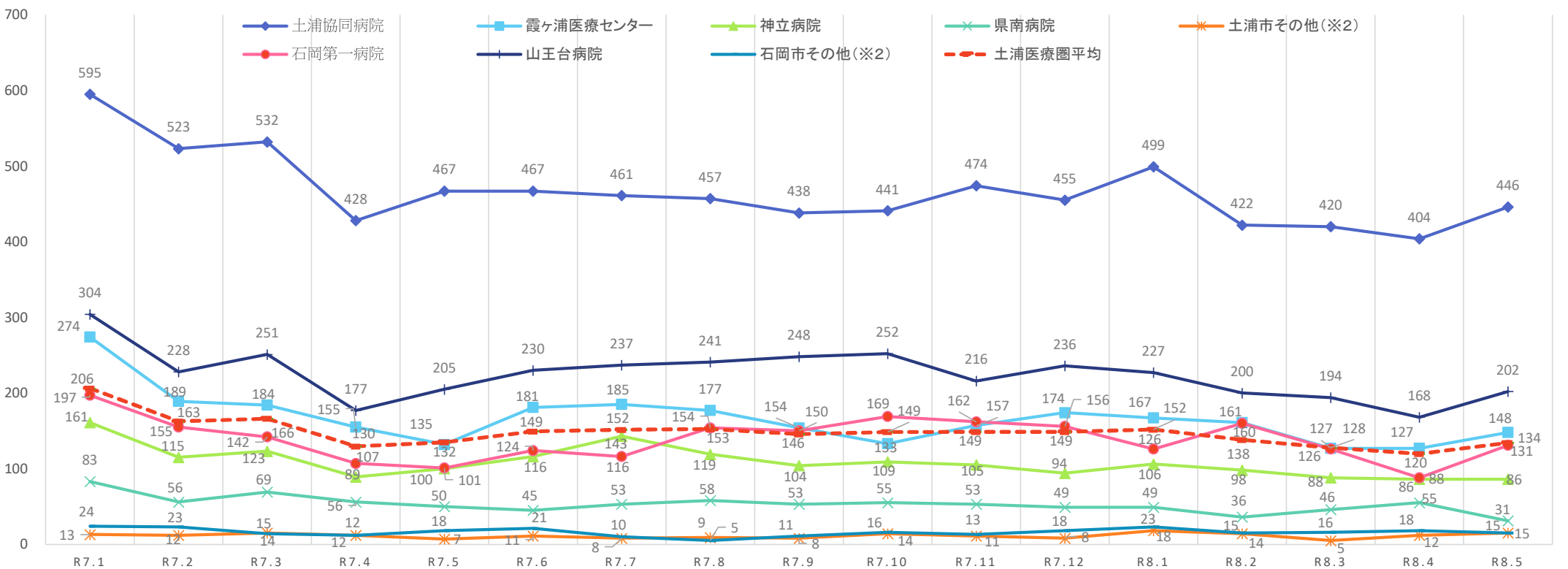
土浦医療圏の救急医療提供体制に関する協議について

土浦医療圏の救急医療提供体制の課題・解決に向けた方向性 (R7年第3回土浦地域医療構想調整会議より)

課題	○人手不足（医師・看護師等）や専門の医師不在により応需が困難 ○急性期を脱した患者の転院先が確保できずに満床となり応需が困難 ○多くの医療機関が休業する年末年始など長期連休時に受け入れがひっ迫（感染症の急速拡大時等）
解決に向けた方向性	○急性期を脱した患者の転院先の確保（下り搬送の協議促進等） ○専門医が在籍する医療機関での受け入れ調整（医療機関間の診療連携等） ○医師・看護師等の確保（<u>医師派遣調整の活用</u>、医療機関間の人材派遣等） ○長期連休時の診療体制構築（行政・医師会等を通じた医療機関への協力依頼等） ○住民への啓発（日中のかかりつけ医受診、救急車の適正利用等）

土浦医療圏内 医療機関別 消防本部からの救急搬送受け入れ照会件数の推移（R7年1月～R8年5月）

- ・土浦協同病院の受け入れ照会件数は、医療圏内で突出しており、R7年4月以降400件台で推移している。
- ・医療圏における直近6か月間の平均件数は、130件前後で推移している。
- ・R7年1～4月の減少傾向は、R6年12月から救急搬送における選定療養費の徴収制度が導入されたことが一つの要因と考えられる。



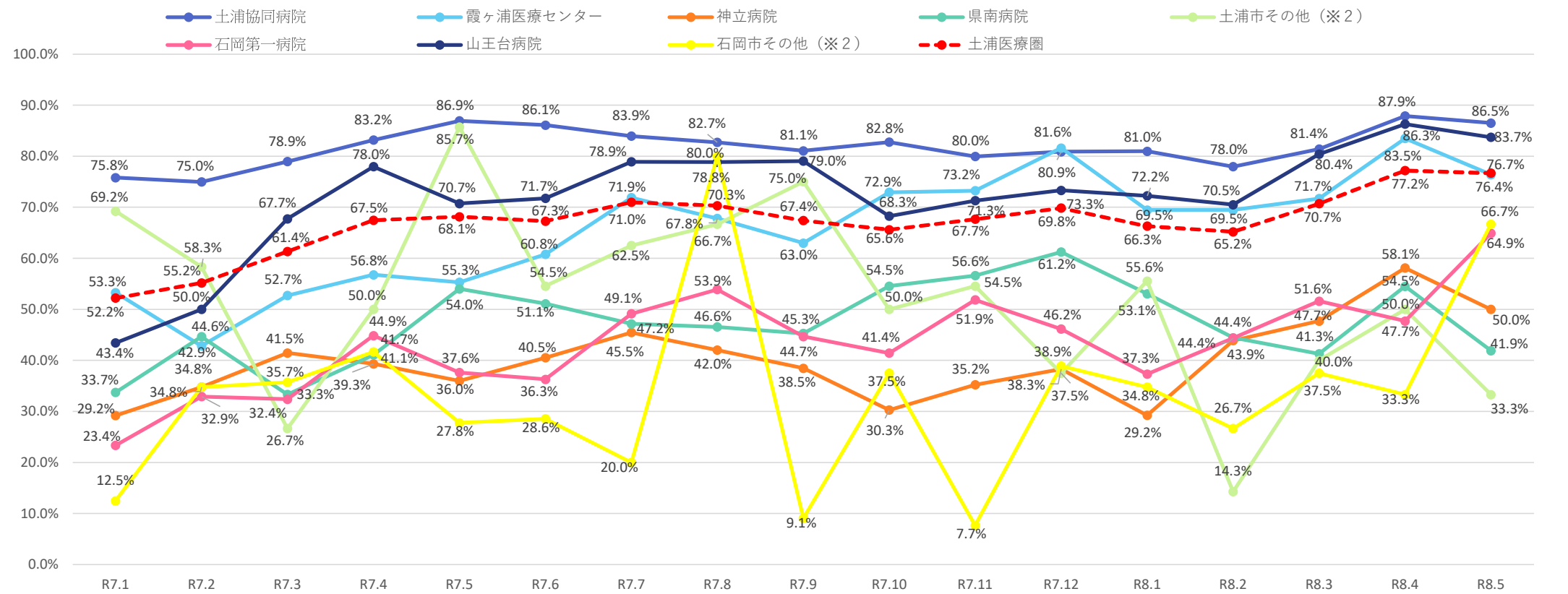
※ 1 救急搬送受け入れ照会件数とは、土浦地区メディカルコントロール協議会加入消防本部（土浦・石岡・かすみがうら・小美玉）から、各医療機関あての救急搬送受け入れ照会件数（土浦・石岡・かすみがうら・小美玉市以外の消防本部からの照会件数は反映されていないことに注意）

※ 2 「土浦市其他」及び「石岡市其他」には、精神科医療機関や診療所を含む。

【引用元】土浦地区メディカルコントロール協議会 「応需率調査」⁴（速報値）

土浦医療圏内医療機関別 応需率の推移（R7年1月～R8年5月）

- ・ R7年1月～R8年5月までの土浦医療圏内医療機関の平均応需率は67.0%で、最も高いのは土浦協同病院の平均81.9%（グラフ外データより）。
- ・ 土浦医療圏の平均応需率は、R7年2月以降上昇傾向を示しており、直近6カ月間の平均応需率は70.8%。
- ・ 山王台病院では、病床を拡大したR7年3月以降、概ね7割台を維持。霞ヶ浦医療センターでも、R7年3月以降応需率が上昇傾向にあり、R7年12月



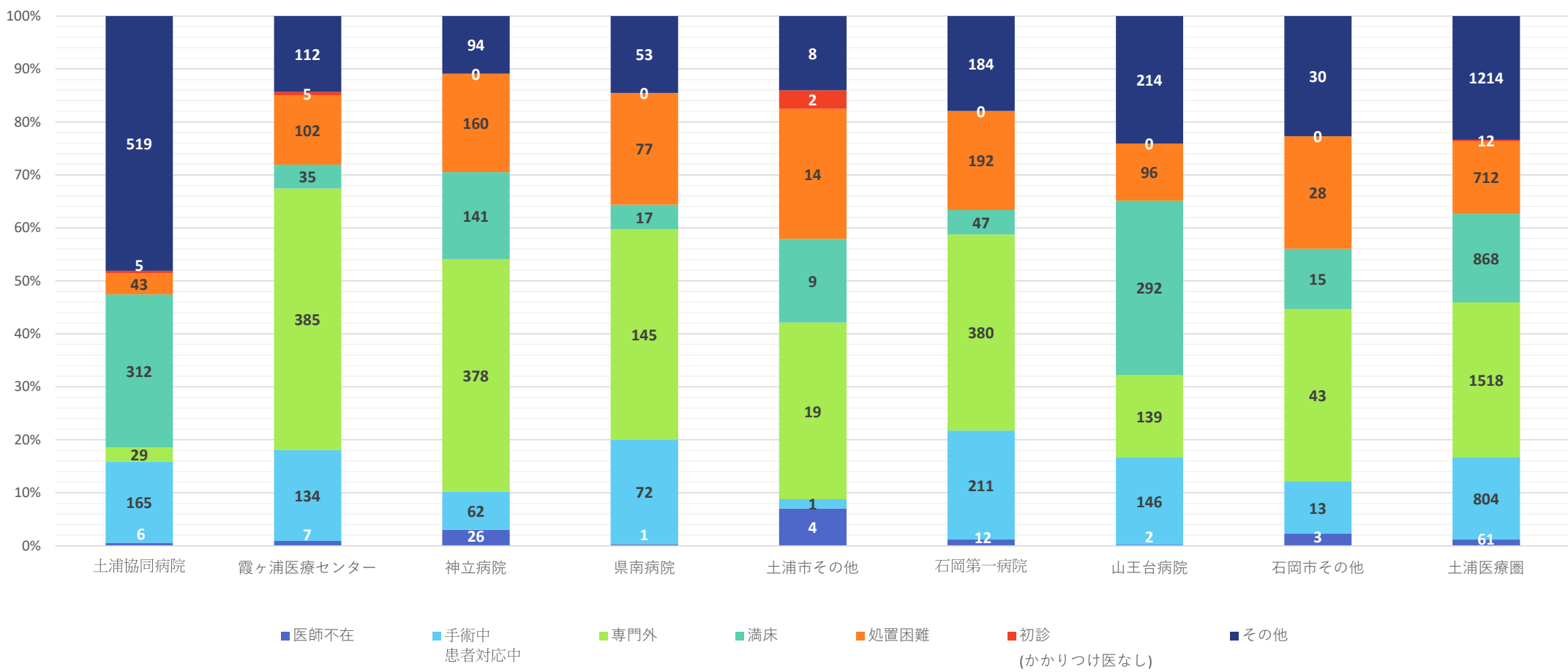
※ 1 応需率とは、土浦地区メディカルコントロール協議会加入消防本部（土浦・石岡・かすみがうら・小美玉）から、各医療機関あての救急搬送受け入れ照会件数に対する受け入れ件数
 （土浦・石岡・かすみがうら・小美玉市以外の消防本部からの応需は反映されていないことに注意）

※ 2 「土浦市その他」及び「石岡市その他」には、精神科医療機関や診療所などを含む。

【引用元】土浦地区メディカルコントロール協議会 「応需率調査」 （速報値）

土浦医療圏内医療機関別 受け入れ不可理由（R7年1月～R7年12月）

・土浦医療圏で最も多い受け入れ不可理由は、「専門外」（傷病者の症状から専門処置が必要であるが専門医が不在の場合）であり、約29%を占める。次に「満床」約17%、「手術中・患者対応中」が約15%と続く。

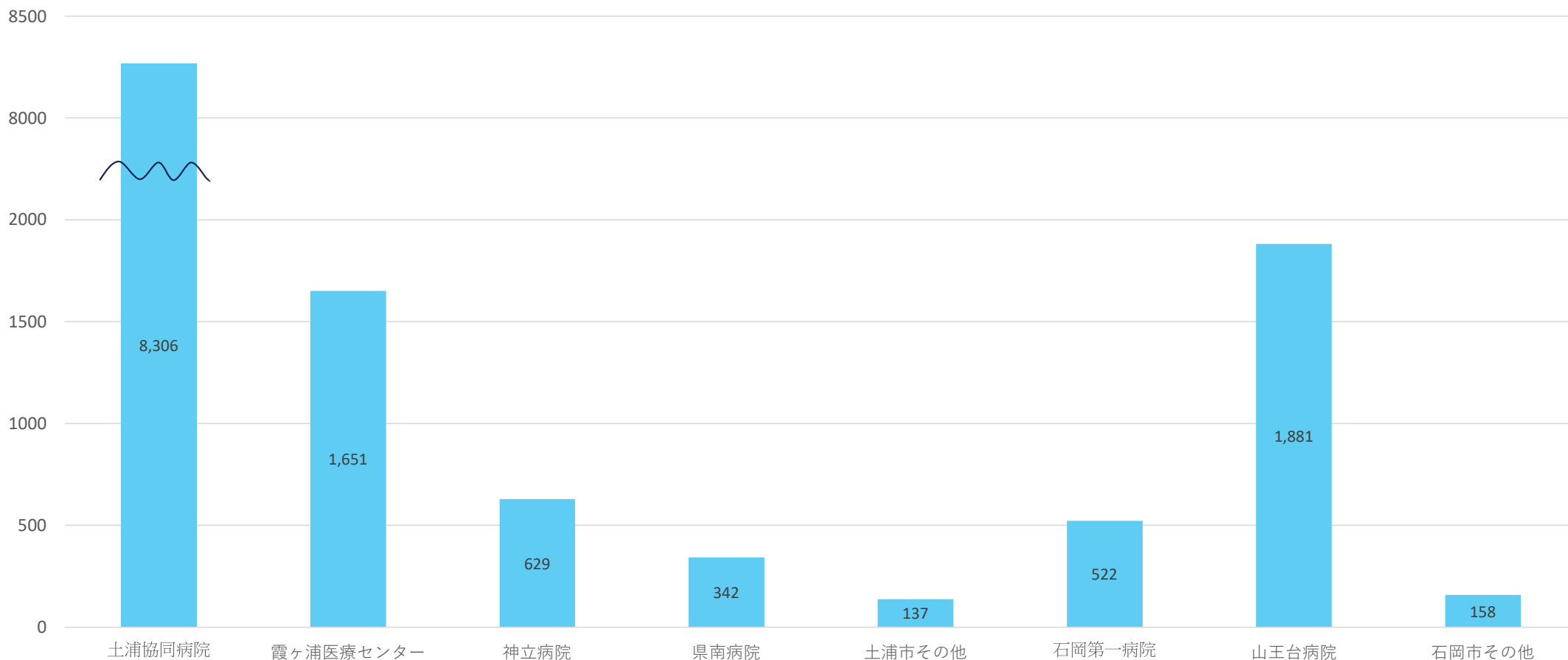


※受け入れ不可理由「その他」には、医師不在ほか6項目の理由に該当しないものを分類。

【引用元】土浦地区メディカルコントロール協議会 「応需率調査」（速報値）

土浦医療圏内医療機関の救急搬送件数（R6.1～R6.12）

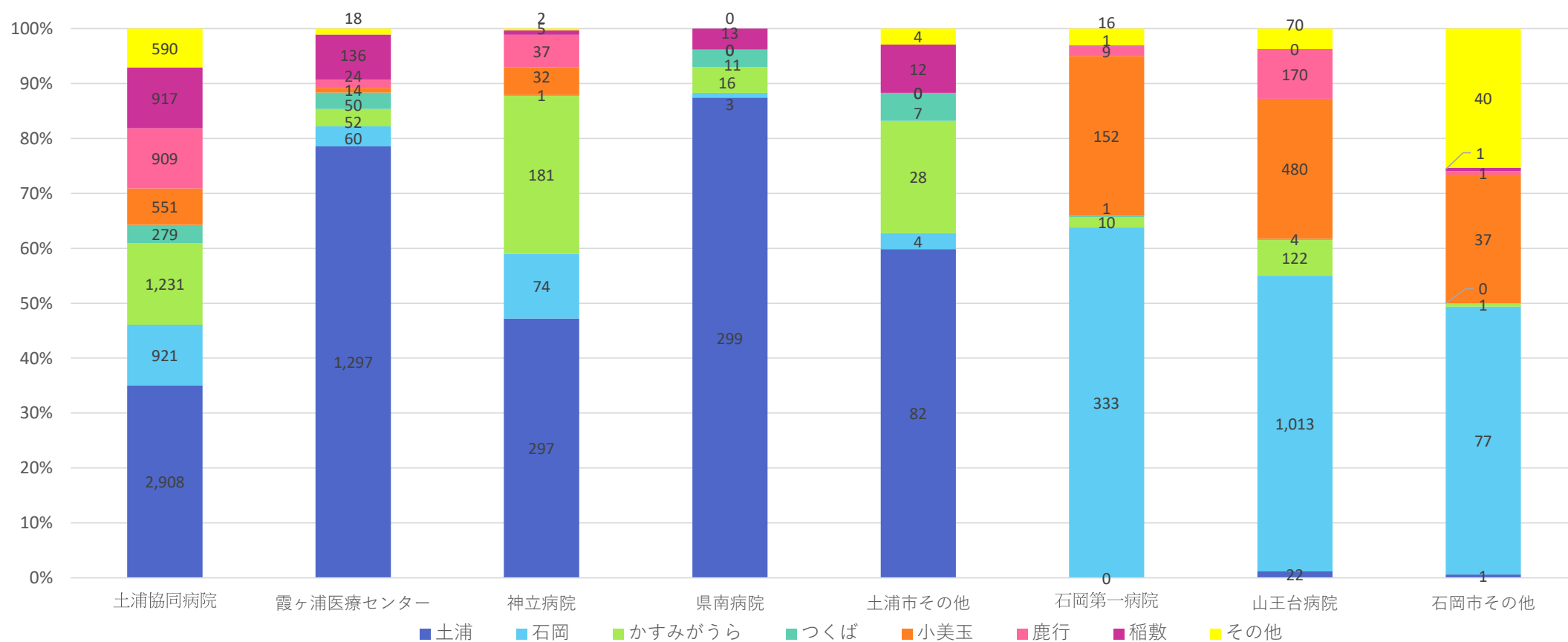
- ・ R6年1年間における県内全消防本部から土浦医療圏内医療機関への搬送件数は約13,600件。
- ・ 土浦協同病院は8,306件（医療圏内の61%）で県内最多。次に山王台病院の1,881件（医療圏内の約14%）、霞ヶ浦医療センターの1,651件（医療圏内の約12%）と続く。



【引用元】茨城県消防安全課「令和6年医療機関別患者搬送人員調べ」⁷

土浦医療圏内医療機関の救急搬送件数 消防本部別（R6.1～R6.12）

- 霞ヶ浦医療センター、神立病院、県南病院では、医療圏内の消防本部からの受け入れ割合が高く、概ね8割～9割台を占める。
- 土浦協同病院では、医療圏外からの受け入れ割合が約4割を占め、そのうち約半数を鹿行広域（鉾田市、潮来市、行方市）及び稲敷広域（竜ヶ崎市、牛久市、稲敷市、阿見町、利根町、河内町、美浦村）からの受け入れが占める。
- 石岡第一病院、山王台病院では、石岡市及び隣接する小美玉市からの受け入れ割合が9割程度を占める。山王台病院では、鹿行広域（鉾田市、潮来市、行方市）からの受け入れ割合も約1割を占める。



【引用元】茨城県消防安全課「令和6年医療機関別患者搬送人員調べ」